

# MCN REPORT

本学の新型コロナウイルス感染症の  
感染防止対策について紹介します

Vol.44  
2020.8



感染防止対策を行いながら授業を受けている様子(1ページ)



高校生のための看護職キャリアデザイン講座  
一日みかんたい生(5ページ)

## 主な内容

本学の新型コロナウイルス感染症への感染防止対策	1
知事特別講義「三重を知ろう」を開催	2
大学の出来事	3
大学院からのお知らせ（令和3年度入学生募集）	5
連携協力協定病院紹介（岡波総合病院）	6



大学マスコット  
キャラクター  
「みかんちゃん」



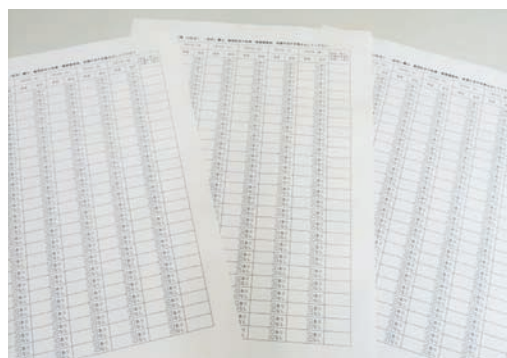
# 本学の新型コロナウイルス感染症への感染防止対策

## 本学が実施している、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策

4月7日から5月29日までの出校停止期間、6月1日からの分散登校を経て、6月15日より全学年の対面授業を開始しました。静かだった学内にも、久しぶりに活気ある風景が戻ってきました。

登校開始に伴い、学生・教職員の安全のために学内で実施している新型コロナウイルス感染症への感染防止対策について、ご紹介します。

### 【登校時・入室時の感染防止対策】



学生・教職員は登校時、手指消毒を行います。各教室の前にアルコール消毒液を設置しており、教室への入室の際にしっかりと消毒をしています。また、授業の開始前には、学生自身が検温表に体温を記入し、風邪症状や発熱、倦怠感がないことを確認しています。なお、マスクを装着していない学生には入室を認めていません。

### 【教室内での感染防止対策】

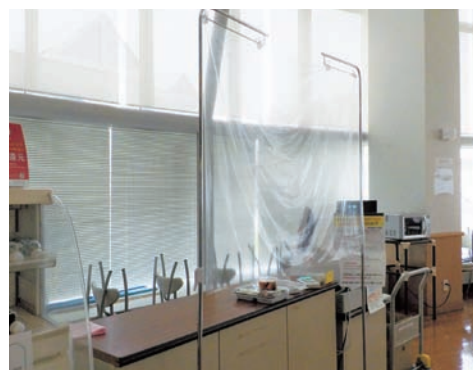


講義形式の授業では、ソーシャルディスタンスの確保のため、3人掛けの机を2人で使用し、学生同士が密にならないよう、細心の注意を払いながら授業を行っています。

また、グループワークなど学生同士の距離が近くなる場合は、グループの人数を減らしたり、フェイスシールドを装着したりするなど、工夫をしています。



## 【附属図書館・大学生協での感染防止対策】



学外の方も利用できる附属図書館では、入り口に体温を記入する用紙を設置したり、館内のテーブルの席数を減らしたりして新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い、利用者の安全を確保しています。

大学生協では、昼食の販売をテイクアウト（予約制）とすることで、食事提供時やレジの混雑をなくす工夫をしています。

## 新型コロナウイルス感染症に対する考え方

本学では、学生の皆さんが日常生活において、新型コロナウイルス感染症に備えながら、有意義な学生生活を送ることができるよう、適宜、学生の皆さんに日常生活や登校時における注意喚起を行っています。

授業・実習に関しては、学修効果の観点から、対策を講じたうえで可能な限り対面授業や臨地実習の実施をめざします。ただし、感染の拡大状況等を注視しながら、必要時には迅速にオンライン授業に切り替えるなどの柔軟な変更も視野に入れていきます。

このような考えのもと、理事長（学長）を委員長とする本学リスク管理委員会では対策の検討を重ね、今後も連絡が必要な際は学生の皆さんにメール等で連絡しますので、随時の確認と感染拡大防止に向けた取組の徹底をお願いします。

## 知事特別講義「三重を知ろう」の開講

6月24日（水）、1年生を対象とした知事特別講義「三重を知ろう」を開講しました。

「三重を知ろう」は、三重県の看護の質向上の拠点でもある本学に在学する学生に、県域の人々の暮らしとその背景にある文化をよく理解して、地域の人々の健康な暮らしをめざす看護職者になってもらいたいというコンセプトのもと、平成30年度から実施しています。

今年度は「実は、三重は〇〇の全国トップクラス」をテーマに、鈴木英敬三重県知事に、三重県の魅力についてご講演いただきました。

講演では、三重県が実施している新型コロナウイルス感染症対策「みえモデル」のお話や、三重県が取り組んでいる健康づくり、女性活躍・男性の育児参加についてお話いただきました。

当日は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、手指消毒や学生の検温を行うなど、感染防止対策を十分に行いながら、講堂での開催となりました。



学生はこの日も体温・健康状態を記入



手指消毒を行う鈴木英敬三重県知事



ソーシャルディスタンス確保のために間隔をあけた座席の様子

# 大学の出来事

大学でのあらゆる取組において、新型コロナウイルス感染症防止のための工夫をしながら実施しました。

## きずなプロジェクトの開催

7月11日(土)

本学では同窓会と連携し、卒業生との情報交換を行うなど、卒業生と大学との「きずな」を大切にしています。

そうした取組の一環として、「きずなプロジェクト」を開催し、卒業生が看護職としての職責を継続して果たせるよう、様々な相談に応えたり、卒業生同士が仕事の悩みを共有したりして、今春卒業生の燃え尽きおよび離職の防止を図っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ソーシャルディスタンスの確保や手指消毒などを徹底し、実施しました。社会人になった皆さんの笑顔がとても眩しくたくましく感じられた一日となりました。



## 暮らしの保健室・よりみちカフェの実施

7月7日(火)ほか

県民の皆さんに健康について興味を持ってもらうことを目的として、「暮らしの保健室」・「よりみちカフェ」を実施しています。

「暮らしの保健室」では、経験豊富な看護師や保健師、助産師そして学生たちが、無料の健康チェックやお悩み相談を行っています。

また、「よりみちカフェ」では、お茶を飲みながら一緒にゲームをしたり、お話をしたりしながら、地域におけるコミュニケーションの活性化をめざしています。

7月7日(火)には、午前「暮らしの保健室」、午後「よりみちカフェ」を開催したところ、両方ともにご参加いただいた方が多くみられました。



骨密度計測の様子



バスボムづくりの様子

### 今後のスケジュール

#### 「暮らしの保健室」

開催日：9月8日(火)、10月5日(月)、10月19日(月)、11月2日(月)、12月7日(月)、12月21日(月)  
令和3年1月5日(火)、1月26日(火)、2月16日(火)、3月9日(火)

開催時間：10時30分から12時30分まで

#### 「よりみちカフェ」

開催日：10月5日(月)、11月2日(月)、12月7日(月)  
令和3年1月5日(火)、2月16日(火)、3月9日(火)

開催時間：13時30分から15時00分まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や延期になる場合がありますのでご了承ください。

※それぞれの内容や、参加方法については、本学ホームページをご覧ください。





## 看護総合実習の発表

6月5日(金)

4年生を対象とした看護総合実習は、今年度は病院の実習生受け入れが困難なことから、臨地実習の形式を見送りました。臨地実習の代替プログラムとして、オンラインの活用や学内実習でのグループワークにて、5月18日(月)からの3週間、多重課題実習に取り組みました。そして6月5日(金)はその仕上げとして、グループごとの発表会を行いました。

4年生は領域ごとに設定した14グループに分かれて、グループあたり15分の動画を用いた発表や質疑応答を行いました。発表会を終えた学生の表情は充実感であふれていました。

### <スケジュール>

#### ① 1週目から2週目(オンラインにより実施)

- ・グループディスカッションおよび領域ディスカッション
- ・設定された2テーマから取り組むテーマを選択し、分析、対応策をグループ検討

#### ② 3週目

- ・学内でのディスカッションおよび発表用動画作成
- ・最終日(6/5)には発表会



### <多重課題研修とは>

複数の患者に異変が起きて切迫した状況の中での、優先順位や対応方法を学ぶためのケーススタディーを用いた研修です。多くの業務が重複することもある看護職にとっては、優先順位の判断を間違えると、患者の安全を脅かすことにもなるため、重要な研修といえます。

## 就職説明会・就活講座

8月4日(火)

3・4年生を対象に令和2年度三重県立看護大学就職説明会を開催しました。例年は医療機関・施設の方に本学にお越しいただき、ブースを設け学生が訪問する形式をとっていましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染予防のため、オンラインで初めて行いました。三重県内の23医療機関・施設が参加していただき、病院紹介や学生の質問に答えていただくなど、コロナ禍における就職活動の貴重な機会となりました。

また、同日、株式会社マイナビから講師を迎え、就活講座を開催しました。『就活スタートアップ講座』と題し、これから就職活動を始める3年生に向けて、自分に合う病院の探し方や情報収集のポイントなどを講義していただきました。こちらもオンラインでの開催となりましたが、学生からは病院訪問時のマナーなどについて積極的に質問がなされました。



# 大学の出来事

## 高校生のための看護職キャリアデザイン講座 一日みかんだい生

8月8日(土)

高校生のための看護職キャリアデザイン講座「一日みかんだい生」を開催しました。今年度は、対象を今回が初参加となる高校3年生のみに限定し、オンライン上で開催しました。

74名の参加があり、前半は、看護職として勤務経験のある本学教員による講義を行い、後半は、「看護職者に求められるものとは?」「理想を実現するために必要なことは?」について17のグループに分かれて本学学生と一緒にワークショップを行いました。

高校生の皆さんは最初は緊張していたようですが、ワークショップを進めていくうちに積極的に発言ができるようになり、自らのキャリアデザインについて深く考えるきっかけとなりました。皆さん集中して一生懸命取り組んでいる様子が画面越しから窺えました。



## みかんだいWEBオープンキャンパス2020

8月22日(土)

「みかんだいWEBオープンキャンパス2020」を開催しました。

今年は来学型でのオープンキャンパス開催を中止し、ホームページでの動画配信とWEB個別相談を実施しました。WEBを使用することで、参加者の方の安全を確保するとともに、本学学生および教職員の安全にも配慮したかたちで開催しました。新しい生活様式に合わせた、初めての試みでしたが、大きな混乱もなく終わることができました。

〈オープンキャンパスにあわせ、本学ホームページに次の動画をアップしています。〉



## 大学院からのお知らせ

### 三重県立看護大学大学院看護学研究科 令和3年度入学生募集

本研究科は、学びの目的に応じ、修士論文コース、臨地教育者コース、専門看護師(CNS)コースを設置しています。看護学を探究したい方、看護職としてのキャリアアップをお考えの方は、ぜひ進学についてご一考ください。

各コースの詳細や募集する教育研究分野、出願方法等については、本学ホームページで公表している令和3年度学生募集要項をご覧ください。

#### 〈就学に関する特例措置〉

社会人の方にも就学しやすい環境を提供するため、夜間その他特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことができる大学院設置基準第14条の適用や、2年間の教育課程を3年間で計画的に履修する長期履修制度があります。

#### 令和3年度入学生 二次募集日程

入試の種類	一般入試・機関長推薦入試・学内推薦入試
出願期間	令和2年10月12日(月)～10月23日(金)
試験日	令和2年12月5日(土)



# 連携協力協定病院紹介

## 連携協力協定病院のご紹介 ～岡波総合病院～

### 刻々と変化する環境に対応する 看護の感性とこころざしを大切に

岡波総合病院は、古い町並みが広がる城下町である伊賀市に立地しており、「おかなみさん」と慕われる地域の中核病院です。2022年には、創立100周年の記念事業として新築移転を計画しています。

看護職は、患者さんの病気や生活を立体的に捉え、知識や経験、暗黙知を駆使して心身をケアし、その人の自然治癒力や残存能力を引き出す専門職です。少子高齢化が加速している昨今、医療の在り方や情勢が大きく転換しました。加えて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、社会環境や生活様式をも大きく変化せざるを得ない現状です。このような状況下において、「至誠・注意・満足」という病院の普遍的な理念を継承するとともに、変化に柔軟に対応する姿勢で、確かな技術と看護のマネジメントを探究していきたいと思えます。また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とワーク・エンゲイジメント（仕事への前向きな姿勢）の融合など、看護職自身のやりがいに向けても、積極的に取り組んでいきたいと考えます。

昨年、三重県立看護大学と連携協力の協定を結ぶ機会を得ました。教育機関と臨床現場がお互いに育て学び合い、看護職のさらなる質的向上と地域貢献につなげていきたいと思えます。  
**（看護部長 松島 由実）**



2022年 新築移転予定



#### 病院情報

**社会医療法人 畿内会 岡波総合病院** [大正11年2月19日開設]

- ❖ 病床数：335床（一般249床・回復期リハビリテーション病棟50床・障害者等病棟36床）人工透析23床
- ❖ 診療科目：内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、心臓血管外科、外科、肛門科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、小児科、放射線科、リハビリテーション科、呼吸器科、歯科口腔外科
- ❖ 職員数：876名（うち看護師283名）（令和2年8月1日現在）

## 連携協力協定病院一覧

### 県内12病院

- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 社会医療法人畿内会 岡波総合病院
- **NEW!** 伊賀市立上野総合市民病院
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立一志病院
- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院

（令和2年8月末日現在）

## さらなる発展と人材育成の充実に向けて

### ～学生の修学支援のための基金への寄附のお願い～

本学では、開学20周年(平成29年)を契機として学生の修学支援に活用するため多くの皆さまの寄附を原資とする「**公立大学法人三重県立看護大学修学支援基金**」を創設しました。

この基金は「**みかん大進学支援給付金**」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な人への入学時の給付金に充当しています。

さらに、今年度、新型コロナウイルス感染症により経済的に困窮している学生を支援するため、この基金を充当して、「**生活支援給付金**」(休学者を除く全学部生を対象に大学生協で書籍の購入や大学食堂に活用できる資金を一律給付)、「**緊急支援一時貸付金**」(一時的な困窮者への無利子貸付金)を臨時的に創設、運用しました。

#### ■皆さまへのお願い■

基金創設時には多くの皆さまからご厚志を賜りましたが、継続的かつ機動的に、安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆さまからの寄附を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■寄付にあたってのお得なお知らせ■

本寄付金は、総務大臣及び文部科学大臣の承認を得て、所得税の税額控除の対象となりました。詳細は事務局にお問い合わせください。(対象:平成31年1月～令和5年12月寄附分)

#### ■令和2年8月末の基金の状況■

基金残高 4,672,000円  
寄附者数(累計) 個人 20人  
法人・組織 12団体

**お問い合わせ** 寄附に関すること:事務局財務・運営課  
給付金に関すること:事務局教務学生課



公立大学法人  
**三重県立看護大学**

〒514-0116

三重県津市夢が丘一丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



#### 本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



#### 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



#### 「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。

広告



財) 日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院  
社会医療法人畿内会

## 岡波総合病院

okanami general hospital



### 急性期から施設・在宅まで

### さまざまな場面で看護に取り組んでいます。



〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町1734番地 TEL:0595-21-3135(代)